

2021 年秋期 奈良学園文化講座

第47回 《いざという時のための救命処置》

日時：9月25日（土）14:00～16:00 講師：松浦純平 奈良学園大学保健医療学部准教授

あなたは、目の前で突然、人が倒れた場合、対応できますか。突然、心臓が停止して倒れてしまう場面にいつ、どこで遭遇するかは誰にも予測できません。心臓と呼吸が停止してからの時間が経過すればするほど急激に救命率は低下していきます。しかし、確実な救命処置と AED（自動体外式除細動器）を使用して応急手当を行えば、命が助かる可能性は格段に上がります。一次救命処置は医療従事者以外の一般の方でも正しい知識と勇気があればできます。この機会に学んでみませんか。

第48回 《秋の日はつるべ落とし》

日時：10月23日（土）14:00～16:00

講師：湯浅 学 元近畿大学大学院教授・理工学総合研究所所長

次の身近な天文現象の疑問点に焦点を当てて考察し、その正解の原因が地球の太陽の回りをまわる公転運動が楕円軌道であり、また、公転面が地球の赤道面と23.5度傾いていることによるものであることを解説する。

1. 春分から秋分までと秋分から春分までの長さは同じかどうか。
 2. 日の入りが一番早い日、および日の出が一番遅い日は冬至であるかどうか。
同様に、日の出が一番早い日、および日の入りが一番遅い日は夏至であるかどうか。
- そして、その正解の原因が、慣用語「秋の日はつるべ落とし」が生まれた背景でもあることを示す。

第49回 《正倉院文書と古代の言葉》

日時：11月20日（土）14:00～16:00 講師：桑原祐子 奈良学園大学人間教育学部教授 図書館長

錦秋の奈良をいろいろと正倉院展には、きらびやかで国際性豊かな宝物とともに奈良時代の古文書「正倉院文書」が出陳されています。今年度の正倉院展に出陳される「正倉院文書」を取り上げながら、正倉院文書の語る世界とその作成者である古代の役人の言葉の世界についてお話をします。

第50回 《仮名の魅力とその美》

日時：12月18日（土）14:00～16:00 講師：河合保秀（鷹山） 奈良学園中学校・高等学校校長

仮名文字は漢字から生まれた日本独自の文字です。漢字の変遷から仮名の成立過程を確認し、漢字との特性の違いを探りたいと考えています。また、平安貴族文化のなかで、特に院政期に隆盛を迎えた仮名書の表現形式や連綿法、運筆のリズム・流れ等を鑑賞することをとおしその様々な美に触れるとともに、仮名書を日常生活に生かすことで日本の貴重な文字文化を継承することの意義を考えていきたいと思います。

◆受講料	各回 350 円 入館料込（奈良学園教職員、在籍者は無料です）
◆定員	各回 20 名（各回、事前申込先着順）※定員になり次第、申込を締め切ります。
◆会場	奈良学園セミナーハウス 志賀直哉旧居（奈良市高畑町 1237-2）
◆申込	志賀直哉旧居（0742-26-6490、seminar@naragakuen.jp）にお申し込みください。
◆主催	学校法人奈良学園 志賀直哉旧居（奈良学園セミナーハウス）

志賀直哉旧居 HP



アクセス



～ご来館の皆様へ注意事項とご協力をお願い～

（新型コロナウイルス等感染予防・拡散防止策について）

○ご来館にあたってのご協力をお願い

- ・感染防止のために講演中もマスクの着用をお願いいたします。
- ・咳エチケットをお守りいただきますようご協力お願いいたします。
- ・検温で発熱がある方はご来館をご遠慮いただきます。
- ・ご来館時の手指の消毒や場内での手洗い励行などにご協力お願いいたします。

※新型コロナウイルス等感染の拡大状況に伴い、日程変更中止等の判断をさせていただく可能性がございます。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。



奈良学園セミナーハウス志賀直哉旧居